

渋谷スクランブルスクエア（東棟） 渋谷駅中心地区デザイン会議 協議内容について

01.施設概要

所在地 東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号
事業主体 東急 株式会社、
東日本旅客鉄道 株式会社、
東京地下鉄 株式会社
主要用途 事務所、店舗、集会場、展示場（展望施設）、駐車場、その他
延床面積 約181,000㎡
建物高さ 約230m
階数 地下7階、地上47階、塔屋2階



外観

※中央棟・西棟については調整中

02.デザインコンセプト（渋谷スクランブルスクエア全体）

渋谷の街の中心・起点として、渋谷らしさを表す景観形成

多様な要素を持つ渋谷の街の中心に存在し、それらの要素を受け、渋谷の新たな顔として最も渋谷らしさを表現する景観を形成する

<近景における景観形成コンセプト>

①立体的な見る・見られる

4階広場空間や東西アーバン・コア等の象徴となる場所は、周囲からの視線に配慮し、広場や街との立体的な見る・見られる関係を創出する。

②渋谷の回遊の起点としての空間

東西アーバン・コア、東西広場やその他公共的な動線等は、各々人の流れに対応した形状とし、渋谷の街の起点である渋谷駅からスムーズに建物から街へ人を促す回遊空間を形成する。

<遠景における景観形成コンセプト>

⑤群景の頂点

群としての象徴性を備えたスカイラインを形成するため、スカイラインの頂点を形成する。

<中景における景観形成コンセプト>

③多様な街と調和した外観

ファサードやコーナーの設えは、多様な特徴を持つ渋谷の街や、隣接街区と呼应を図り、渋谷全体としての調和をもたらす景観を形成する。

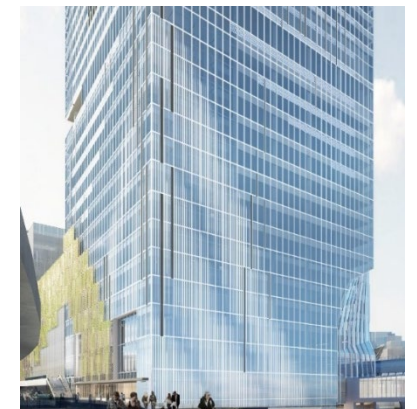
④立体的な見える緑

多層の歩行者空間から見える緑、周辺と一体的な緑化を施し立体的な緑のネットワークを形成する。

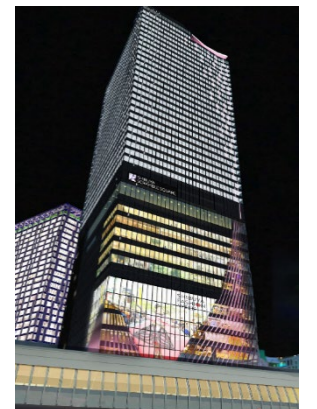
03.最終イメージ



展望施設



特徴ある南東コーナーと南壁面緑化



夜間景観



東口アーバン・コア



東口アーバン・コア 1F

渋谷スクランブルスクエア（東棟） 渋谷駅中心地区デザイン会議 協議内容について

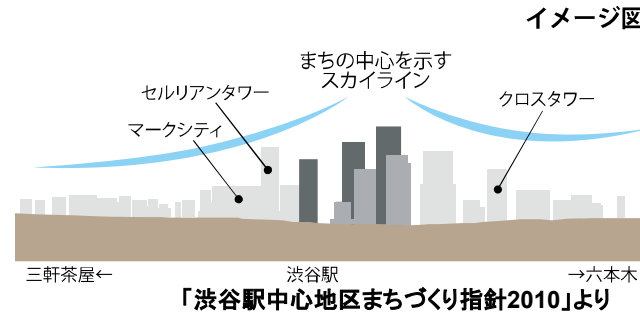
04.デザイン会議協議内容（抜粋）

頂部デザイン

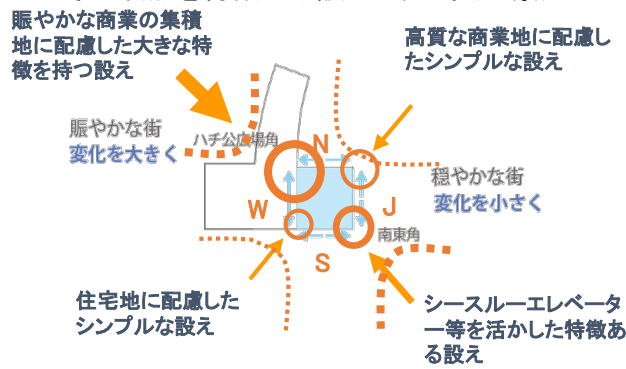
指針 群として象徴性を備えたスカイラインの形成 □建物高層部は主要な眺望点からの群としての見え方に配慮し、一体性の取れた設えとする。

高層部分に関して他街区との関係性を検討すること。
建物の群としての見え方（遠景）について、きちんと検討すること。

各々の方向に対して特徴のあるコーナーを形成。（中景）
コーナーに向かって壁面にグラデーションを施し、全体の一体感・安定感を表すデザイン。（中景）
全体は渋谷駅街区を中心に群としてのスカイラインを形成し、その頂点を特徴的な設えとする。（遠景）



イメージ図

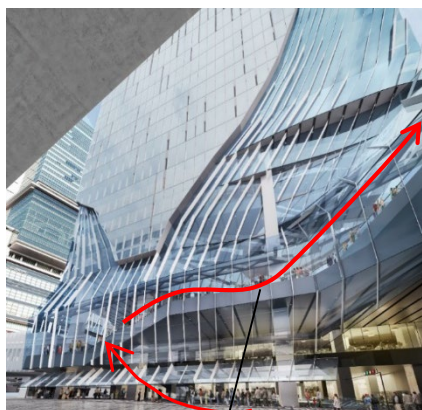


東口アーバン・コア

指針 渋谷らしい、エリアや沿道ごとに個性ある街並み、多様な界わり、活気とにぎわい景観の形成 □アーバン・コア、ゲート広場は駅からの視認性に配慮した設えとする。

動線だけでなく、人々のアクティビティの場所としてのアーバン・コアのデザインについて検討すること。
アーバン・コアとして分かりやすいデザイン言語として提案すること。

垂直的に地下から上階までの「くぼみ」により、象徴的な景観を形成。
人の流れに対応し、階段状に切り取られた吹き抜け空間・上下移動時に折り重なる軒天や側面の移り変わる景観を形成。



階段状の吹き抜け

